

成澤文和君の写真が県展で入選

上原 昇 (2組)

今年も5月28日から6月19日まで、第73回埼玉県芸術文化祭(県展)が埼玉県立近代美術館(さいたま市浦和区)で開催されています。

成澤文和君(4組、さいたま市在住)が作品を応募して見事入選しました。

展覧会は第1部の日本画から第6部の写真まで多岐にわたるジャンルを網羅していますので、一度に全作品を見て回ることはとても出来ません。

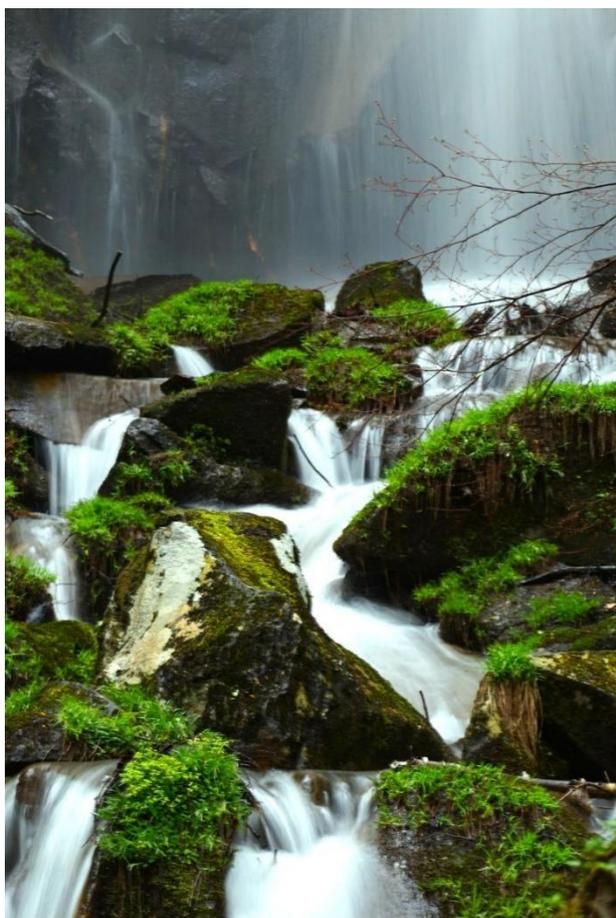
6月6日(金)の昼どき、成澤君を含む近隣在住同期4人(関賢治君2組、浅倉英樹君4組、筆者)が集まって、写真の部を鑑賞する機会を持ちました。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/news/page/news2025052301.html>

以下は成澤君のコメントです。

「2年ぶりになる県展入選作を鑑賞するため、近くに住む3人の仲間を誘いました。今回の県展写真の部では、一般応募が908点、そのうち入選は410点で入選率45%でした。昨年10月開催のさいたま市展の84%に比べると難関となります。今回の作品は裏磐梯の幻の滝を下から見上げる場所より撮影したもので、タイトルは『晩春の溪声』としました。滝を撮影するときは、シャッタースピードは1秒前後にしておいて、ブレないように必ず三脚を立てるようにしています。今回は流れの中で足元が悪く、苦労しました。まだまだ勉強することがあり、撮影の醍醐味を感じるようになるまで時間がかかりそうです。」

鑑賞後は北浦和駅近くの居酒屋で、ビールを片手の懇親会となりました。



成澤君の作品『晩春の溪声』



作品の前で成澤君

(2025年6月8日記)

以上